

製品名: クローディン 2 マウスモノクローナル抗体(8H11)**カタログ番号: AMM08905**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:100-1:500
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN2 PSEC0059 SP82 UNQ705/PRO1356
別名	Claudin-2 (SP82)
遺伝子 ID	9075.0
SwissProt ID	P57739
免疫原	ヒトクローディン 2 由来の合成ペプチド

背景

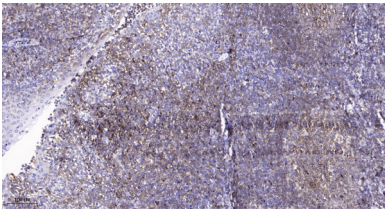
この遺伝子産物は、クローディンタンパク質ファミリーに属し、そのメンバーはタイトジャンクションにのみ局在する主要な膜貫通タンパク質として同定されています。クローディンは臓器特異的に発現し、タイトジャンクションの組織特異的な生理学的特性を制

御します。このタンパク質は腸管で発現します。この遺伝子には、5'非翻訳領域が異なる選択的スプライシング転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2010年1月],機能: カルシウム非依存性細胞接着活性を介して、タイトジャンクション特異的な細胞間隙の閉塞に主要な役割を果たす。類似性: クローディングファミリーに属する。サブユニット: 他のCLDNとホモポリマーおよびヘテロポリマーを形成できる。ホモポリマーはCLDN3と相互作用するが、CLDN1のホモポリマーとは相互作用しない。TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、およびTJP3/ZO-3と直接相互作用する。、

研究分野

細胞接着分子 (CAM) 、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。